

# 令和 3年度 事務事業評価シート

[令和 2年度事後評価]

整理番号	61				
部 局 名	市民部	所 属 名	スポーツ課	所 属 長	足立 寿通
事務事業名	00841	スポーツ推進委員設置事業	記 入 者	牧野 淳	

## < 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	スポーツ基本法、天津市スポーツ推進委員に関する規則 大津市スポーツ推進計画
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り		
	政策	04	スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします		
	施策	01	スポーツの普及・振興		
	視点	01	生涯スポーツの普及・振興		
重事	01	生涯スポーツの推進	関連する個別計画		

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	管理	評価対象事業	スポーツ推進委員設置費	

事業の概要  
 スポーツ推進のための事業実施に係る連絡調整、並びに住民に対するスポーツの実技指導、その他スポーツに関する指導、助言を行う「大津市スポーツ推進委員」を委嘱している。地域でのスポーツ指導やスポーツイベントの中心的な存在（コーディネーター）として活動するため、研修会などを開催し委員の資質向上を図っている。

運営方法  直営  指定管理者  民間委託  出資団体委託  補助金交付  その他 ( )

## < 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	地域における生涯スポーツ振興のために
対象 (何又は誰を)	社会体育関係者（スポーツ推進委員等）を対象として
手段 (どのようなやり方で)	各種研修会への派遣やスポーツ指導者研修会、毎月1回の定例会を開催し
成果 (どのような状態にするのか)	社会体育関係者の資質を向上し、住民に対するスポーツの実技指導、その他スポーツに関する指導、助言を行うためスポーツコーディネーターを養成する。

## < 3. 経費 > DO

		平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 決算額(千円)	令和 2年度 決算額(千円)	令和 3年度 予算額(千円)	令和 4年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		4,027	4,159	4,458	4,386	4,686	
人件費 B		2,050	2,075	3,280	2,050	2,460	
事業費合計 A+B		6,077	6,234	7,738	6,436	7,146	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	6,077	6,234	7,738	6,436	7,146	
職員数 (人)		0.25	0.25	0.40	0.25	0.30	
職員数の内訳	正規	0.25	0.25	0.40	0.25	0.30	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## < 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
活動指標	1	スポーツ推進委員及びスポーツ指導員の数	人	目標	46	46	46	46	46
				実績	42	44	46	-	-
		定数 スポーツ推進委員 46人							
活動指標	2	スポーツ推進委員協議会主催及び主管事業の数	回	目標	0	0	9	11	11
				実績	0	0	6	-	-
		スポーツ推進委員協議会の主催事業及びスポーツ推進委員が運営の主体として開催される主管事業の実施延べ回数							
成果指標	1	スポーツ推進委員協議会主催及び主管事業への従事者数	人	目標	0	0	225	275	275
				実績	0	0	135	-	-
		主催及び主管事業へのスポーツ推進委員の従事者延べ人数							
成果指標	2	各種研修会への参加者数	人	目標	0	0	225	225	225
				実績	0	0	62	-	-
		スポーツ推進委員の資質向上が図れる研修会への参加延べ人数							

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	スポーツ推進委員の役割は、スポーツに関する指導及び助言のみならず、事業実施に係る連絡調整として、重要性が増してきているが、新型コロナウイルス感染症拡大以降は活動が制限される状況が続いている。		
これまでの見直しや改善等の経過	スポーツ推進委員の構成については、総合型地域スポーツクラブ、大学、障害者スポーツ団体、プロスポーツチームからの推薦に加え、一般市民からの公募を行うなど、幅広い分野から参画をいただいている。		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	スポーツ推進委員は、スポーツ基本法の規定により、市が委嘱している。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input type="checkbox"/> A. 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	障害者スポーツや指導者向けの研修などを実施することで、スポーツ推進委員の資質向上を図っている。また、各地域でのスポーツイベントの企画運営や地域へ出張型事業を行うなど地域のスポーツコーディネーターの役割を担っている。	
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	「地域いきいき健康マップ」の活用や各種事業の運営、地域へのスポーツ啓発活動に寄与している。	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模や見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要		

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	地域・大学・行政とのパイプ役だけでなく、体力測定会などの自主事業の展開により、本市における生涯スポーツの普及・推進に大きく貢献している。
---------	--	--

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続    ( <input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他 ) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 (    ) <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	スポーツ推進委員は、地域におけるスポーツ技術の指導や助言のみならず、地域のスポーツ活動推進のコーディネーターの役割を担っている。今後より一層地域における生涯スポーツを推進するため、スポーツ推進委員の資質向上のための指導者研修会開催や市民が体を動かすきっかけ作りに繋がる自主事業を拡充できるよう支援していく。
部局長コメント	公的な社会体育指導者であるスポーツ推進委員は、市民が生涯スポーツ活動を実践するうえで、実技指導や助言を行うなど非常に重要な役割を担っている。今後は新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、スポーツ推進委員の独自事業を進めていくこと。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成30年度	平成31年度	令和2年度
目標達成率	指標1	0.00 %	0.00 %	60.00 %
	指標2	0.00 %	0.00 %	27.55 %
成果増減率	指標1	- %	±0.00 %	±0.00 %
	指標2	- %	±0.00 %	±0.00 %
活動単位コスト	指標1	144 千円	141 千円	168 千円
	指標2	0 千円	0 千円	1,289 千円
成果単位コスト	指標1	0 千円	0 千円	57 千円
	指標2	0 千円	0 千円	124 千円
コスト増減率		- %	±0.00 %	±0.00 %

# 令和 3年度 事務事業評価シート

[令和 2年度事後評価]

整理番号	62	
部 局 名	市民部	所 属 名
事務事業名	00837 体育団体等活動助成事業	所 属 長
		記 入 者

## < 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	スポーツ基本法
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人々が集うまちを創り		
	政策	04	スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします	関連する個別計画	大津市スポーツ推進計画
	施策	01	スポーツの普及・振興		
	視点	02	競技スポーツの推進		
重事	02	地域のスポーツ活動の推進			
関連事業	コード	事務事業名称		コード	所属名称
予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	管理	評価対象事業	体育団体等活動助成金	
事業の概要	生涯にわたり健康で活力ある生活を維持するため、生活にスポーツやレクリエーション活動を取り入れるよう、各種体育団体の活動を支援することにより、生涯スポーツの振興を図る。				
運営方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )				

## < 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	各種体育団体によるスポーツ事業が活発に展開されるよう
対象 (何又は誰を)	各種体育団体 (1. 市内36学区体育団体 2. 大津市スポーツ協会 3. 大津市スポーツ少年団 4. 大津市レクリエーション協会 5. 大津市学区体育団体連絡協議会) を対象として
手段 (どのようなやり方で)	運営補助金、事業補助金の交付、事業の共催開催を行い、
成果 (どのような状態にするのか)	各種スポーツの振興及び生涯スポーツやレクリエーション事業の普及を通じて健康の保持増進を図る。

## < 3. 経費 > DO

		平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 決算額(千円)	令和 2年度 決算額(千円)	令和 3年度 予算額(千円)	令和 4年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		13,438	12,082	7,677	13,090	12,290	
人件費 B		2,050	1,909	1,834	1,219	1,886	
事業費合計 A+B		15,488	13,991	9,511	14,309	14,176	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	15,488	13,991	9,511	14,309	14,176	
職員数(人)		0.25	0.23	0.23	0.23	0.23	
職員数の内訳	正規	0.25	0.23	0.22	0.10	0.23	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.01	0.13	0.00	

## < 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
活動指標	1	助成金対象団体	団体	目標	5	5	5	5	5
				実績	5	5	5	-	-
市内36学区体育団体、体育協会、スポーツ少年団、他2団体									
成果指標	1	助成団体活動事業数	事業	目標	375	375	120	250	250
				実績	390	435	104	-	-
対象5団体が実施する事業の合計									
2				目標					
				実績					



# 令和 3年度 事務事業評価シート

[令和 2年度事後評価]

整理番号	63	部 局 名	市民部	所 属 名	スポーツ課	所 属 長	足立 寿通
事務事業名	00849	各種全国体育大会等共催負担及び補助事業		記 入 者		牧野 淳	

## ＜1. 基本事項＞

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	スポーツ基本法
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り		大津市スポーツ推進計画
	政策	04	スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします		
	施策	01	スポーツの普及・振興		
	視点	02	競技スポーツの推進		
重事	02	地域のスポーツ活動の推進			

関連事業	コード	事 務 事 業 名 称	コード	所 属 名 称

予算事業	会 計	枠	事 業 種 別	予 算 事 業 名	始 期 ・ 終 期
	一般会計	特定	評価対象事業	各種全国体育大会等共催負担及び補助事業費	
	一般会計	特定	評価対象事業	全国大会開催支援事業費	

**事業の概要**  
 市内で開催される各種全国大会等に補助（負担）金を交付し、選手の競技力向上や役員の競技運営力の向上を図るとともに、市民が各種全国大会に接することで、スポーツに対する意義を体感・理解していただく機会とする。また、歴史ある各大会が大津市内で継続して開催していけるよう、競技関係者や市民、市民団体等の理解や協力のもと事業を展開しPR活動を行っている。

**運営方法**  直営  指定管理者  民間委託  出資団体委託  補助金交付  その他（負担金）

## ＜2. 事業分析＞ PLAN

目的 (何のために)	参加選手の競技力向上、スポーツを直接見る環境の充実や、スポーツを支える人の意識向上、市民へのスポーツ啓発、大津市のスポーツ環境を全国に啓発するために
対象 (何又は誰を)	3月のびわ湖毎日マラソン大会、5月の朝日レガッタ、その他、市内で開催される全国大会等の事業を対象として
手段 (どのようなやり方で)	各実行委員会負担金や補助金を交付し
成果 (どのような状態にするのか)	市民のスポーツ意識の醸成や実施する機運を高めると共に、各大会を世界選手権やオリンピックの選考大会として開催できるよう支援し、併せて大津市の知名度を高める。

## ＜3. 経費＞ DO

		平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 決算額(千円)	令和 2年度 決算額(千円)	令和 3年度 予算額(千円)	令和 4年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		26,448	16,630	15,057	1,740	1,740	平成29年度より全国大会開催
人件費 B		4,428	1,909	2,870	738	1,886	支援事業と統合
事業費合計 A+B		30,876	18,539	17,927	2,478	3,626	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	30,876	18,539	17,927	2,478	3,626	
職員数(人)		0.54	0.23	0.35	0.09	0.23	
職員数の内訳	正規	0.54	0.23	0.35	0.09	0.23	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## ＜4. 指標＞ DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
活動指標	1	負担金、補助金等交付件数	件	目標	11	9	3	5	5
				実績	10	6	2	-	-
	交付している大会件数								
	2	目標							
実績									
成果指標	1	参加者・参加チーム数	件	目標	4,500	4,500	1,000	2,000	4,000
				実績	6,583	4,498	413	-	-
	交付大会への参加者・参加チーム数								
	2	目標							
実績									



# 令和 3年度 事務事業評価シート

[令和 2年度事後評価]

整理番号	64		
部 局 名	市民部	所 属 名	スポーツ課
事務事業名	00851 市民体育大会等開催助成事業	所 属 長	足立 寿通
		記 入 者	牧野 淳

## ＜1. 基本事項＞

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	スポーツ基本法
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り	関連する個別計画	大津市スポーツ推進計画
	政策	04	スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします		
	施策	01	スポーツの普及・振興		
	視点	02	競技スポーツの推進		
重事	02	地域のスポーツ活動の推進			
関連事業	コード	事務事業名称		コード	所属名称
予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	政策	評価対象事業	市民体育大会等開催助成金	
事業の概要	スポーツの祭典として多数の市民参加がある「市民体育大会（学区対抗・公開一般競技）」の実行委員会を組織し開催。				
運営方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他（負担金）				

## ＜2. 事業分析＞ PLAN

目的 (何のために)	市民の健康・体づくりに対する関心を高めるために
対象 (何又は誰を)	市民を対象として
手段 (どのようなやり方で)	市民体育大会を開催して
成果 (どのような状態にするのか)	市民の体力向上を図る。

## ＜3. 経費＞ DO

		平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 決算額(千円)	令和 2年度 決算額(千円)	令和 3年度 予算額(千円)	令和 4年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		3,097	1,500	43	1,640	1,500	
人件費 B		656	664	328	656	1,230	
事業費合計 A+B		3,753	2,164	371	2,296	2,730	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	3,753	2,164	371	2,296	2,730	
職員数(人)		0.08	0.08	0.04	0.08	0.15	
職員数の内訳	正規	0.08	0.08	0.04	0.08	0.15	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## ＜4. 指標＞ DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
活動指標	1	大津市民体育大会開催競技種目数	種目	目標	11	11	0	11	11	
				実績	11	11	0	-	-	
	大運動会（平成29年度で終了）、卓球、バレー、バドミントン他									
	2	チャレンジ比良登山大会コース数	コース	目標	3	0	0	0	0	
実績				3	0	0	-	-		
コース数（平成30年度で終了）										
成果指標	1	大津市民体育大会 参加者数	人	目標	5,000	5,000	0	3,000	5,000	
				実績	3,544	3,526	0	-	-	
	各競技参加者数の合計（令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大による中止で、実績値0）									
	2	チャレンジ比良登山大会 参加者数	人	目標	800	0	0	0	0	
実績				511	0	0	-	-		
各コース参加者数の合計（平成30年度で終了）										

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	国際大会や国スポ・障スポ大会等の大規模な大会が続く中、市民のスポーツに対する関心・機運は高まりつつあることから、新型コロナウイルス感染症拡大予防を念頭においたスポーツの機運醸成が必要となっている。		
これまでの見直しや改善等の経過	実行委員会にて実施内容等を見直し、平成29年度をもって大運動会を廃止し、誰もが参加しやすいウォークラリーを実施。チャレンジ比良登山&志賀ウォーキングは平成30年度をもって廃止となった。		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	市民の健康・体づくりのきっかけ作りとして開催し、地域のスポーツ活動の推進に寄与している。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input type="checkbox"/> A. 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、中止とした。各学区のスポーツイベントへの参加意欲調査や次年度事業開催に向けた対策検討を行った。	
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input type="checkbox"/> A. 高い <input checked="" type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	主管する団体等の参加する実行委員会形式で実施しており効率的である。	
総合評価	<input type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模や見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要		

施策への貢献度	<input type="checkbox"/> A. 貢献している <input checked="" type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	全市的なスポーツイベントとして実施しており、市民の運動・スポーツをするきっかけ作りに繋がっており、スポーツの普及振興に貢献している。
---------	--	--

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 ( <input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他 ) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 ( ) <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	市民体育大会については、一定の参加者数があるものの、固定化が見られることから、新型コロナウイルス感染症の対策を講じつつ、新たな参加者を広げる工夫等が必要である。
部局長コメント	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により中止となったが、今後は、感染状況を踏まえつつ、各競技団体と連携しながら、市民の健康体づくりの向上に少しでも寄与できるような市民体育大会の取組みを進めていくこと。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
目標達成率	指標1	141.08 %	141.80 %	0.00 %
	指標2	63.87 %	0.00 %	0.00 %
成果増減率	指標1	- %	+0.50 %	+100.00 %
	指標2	- %	-100.00 %	±0.00 %
活動単位コスト	指標1	341 千円	196 千円	0 千円
	指標2	1,251 千円	0 千円	0 千円
成果単位コスト	指標1	1 千円	0 千円	0 千円
	指標2	7 千円	0 千円	0 千円
コスト増減率	- %	+21.02 %	±0.00 %	

# 令和 3年度 事務事業評価シート

[令和 2年度事後評価]

整理番号	65		
部局名	市民部	所属名	スポーツ課
事務事業名	00852 各種全国大会等出場激励事業	所属長	足立 寿通
		記入者	牧野 淳

## < 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名称	根拠法令等	各種体育・スポーツ大会 激励金交付要綱
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り		
	政策	04	スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします	関連する 個別計画	大津市スポーツ推進計画
	施策	01	スポーツの普及・振興		
	視点	02	競技スポーツの推進		
重事	02	地域のスポーツ活動の推進			

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	管理	評価対象事業	各種全国大会等出場激励金	

事業の概要  
各種体育・スポーツ大会に出場する選手に対し激励金を交付し、本市の体育・スポーツの推進を図ることを目的とする。

運営方法  直営  指定管理者  民間委託  出資団体委託  補助金交付  その他 ( )

## < 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	競技力の向上と競技スポーツの推進を図るために
対象 (何又は誰を)	国際・全国大会に出場する選手を対象として
手段 (どのようなやり方で)	激励金の交付することにより
成果 (どのような状態にするのか)	ハイレベルの競技大会に出場、スポーツの活性化を図る。

## < 3. 経費 > DO

		平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 決算額(千円)	令和 2年度 決算額(千円)	令和 3年度 予算額(千円)	令和 4年度 見込額(千円)	備 考
直接経費	A	1,923	1,327	486	1,613	1,563	
人件費	B	2,050	1,909	1,004	808	1,886	
事業費合計 A+B		3,973	3,236	1,490	2,421	3,449	
事業費 の財源 内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	1,923	1,327	486	1,613	1,563	
	一般財源	2,050	1,909	1,004	808	1,886	
職員数	(人)	0.25	0.23	0.16	0.23	0.23	
職員数 の内訳	正規	0.25	0.23	0.10	0.02	0.23	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.06	0.21	0.00	

## < 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
活動指標	1	激励金交付件数	件	目標	80	80	40	80	80
		実績		107	94	33	-	-	
		激励金を交付した大会の件数							
成果指標	1	入賞大会件数	件	目標	5	5	2	5	5
		実績		6	3	5	-	-	
		出場した大会で3位以上の成績を収めた大会							
	2			目標					
				実績					

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	滋賀県において、滋賀国スポ・障スポ開催に向けて、学校や地域団体と連携した強化拠点構築により選手強化している。		
これまでの見直しや改善等の経過	激励金の交付要綱について、平成31年度に交付金額の変更や文言の整理等、一部改正を行った。また、広報おとつへの掲載、ツイッター等SNSを活用した当該事業の周知PR活動を実施している。		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	競技スポーツの普及・促進を図るため、本市の代表として、国際大会や全国大会に出場する選手に対して、本市が激励金を交付する事は妥当である。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input type="checkbox"/> A. 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	全国大会や世界大会出場者を市ホームページ等で広く市民に周知することにより、市民へのスポーツの関心を高める。	
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input type="checkbox"/> A. 高い <input checked="" type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	競技者のモチベーションを高め、競技スポーツの活性化を図る上で励みとなる事業である。	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模や見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要		

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	国際・全国大会へ出場する選手へ激励金を交付する事は、選手のモチベーション向上に寄与するとともに、出場選手を広く市民に周知することで、本市のスポーツの活性化に貢献している。
---------	--	---

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 ( <input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他 ) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 ( ) <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	<input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他
部局長コメント	激励金は、市として選手の競技力向上や市民へのスポーツの関心を高める事業と考えている。今後も引き続き全国大会等出場選手を市ホームページ等で広く周知することと並行しながら進めていくこと。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分	平成30年度	平成31年度	令和2年度
目標達成率	指標1 120.00 %	60.00 %	250.00 %
	指標2 - %	- %	- %
成果増減率	指標1 - %	-50.00 %	+66.66 %
	指標2 - %	%	%
活動単位コスト	指標1 37 千円	34 千円	45 千円
	指標2 - 千円	- 千円	- 千円
成果単位コスト	指標1 662 千円	1,078 千円	298 千円
	指標2 - 千円	- 千円	- 千円
コスト増減率	- %	+62.89 %	-72.37 %

# 令和 3年度 事務事業評価シート

[令和 2年度事後評価]

整理番号	66				
部局名	市民部	所属名	スポーツ課	所属長	桐畑嘉弘
事務事業名	04032	国民スポーツ大会開催事業	記入者	桐畑嘉弘	

## < 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	スポーツ基本法、国民体育大会開催基準要項 大津市開催推進総合計画等
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り		
	政策	04	スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします		
	施策	01	スポーツの普及・振興		
	視点	02	競技スポーツの推進		
	重事	02	地域のスポーツ活動の推進	関連する個別計画	
関連事業	コード	事務事業名称		コード	所属名称
予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	政策	評価対象事業	国民スポーツ大会開催事業費	
事業の概要	令和7年に滋賀県で「第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会」が開催される。本市では国民スポーツ大会12競技、全国障害者スポーツ大会2競技、デモンストレーションスポーツ4競技、オープン競技1競技が開催されることから、競技会場の整備と大津市大会準備委員会を設置し大会開催に向けた準備を進めていく。				
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他（負担金）				

## < 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	本大会の開催を契機として、競技力の向上はもとより、市民の体方向上・運動能力を高め、スポーツの普及・振興に繋げるとともに大津の魅力を全国に発信するため
対象 (何又は誰を)	市民と大会参加者などを対象に
手段 (どのようなやり方で)	大津市大会準備委員会を設置し、県、各種団体、市民と連携を図りながら開催準備を進め
成果 (どのような状態にするのか)	大会開催の成功と本市のスポーツの普及・振興を目指すとともに大津市の魅力を全国に発信する

## < 3. 経費 > DO

	平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 決算額(千円)	令和 2年度 決算額(千円)	令和 3年度 予算額(千円)	令和 4年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A	0	0	4,853	158,972	370,135	
人件費 B	0	0	57,236	57,400	109,670	
事業費合計 A+B	0	0	62,089	216,372	479,805	
事業費の内訳	国	0	0	71,181	159,847	
	県	0	0	32,000	55,851	
	起債	0	0	35,200	101,200	
	その他	0	0	0	0	
	一般財源	0	0	62,089	77,991	162,907
職員数(人)	0.00	0.00	6.98	7.00	14.00	
職員数の内訳	正規	0.00	0.00	6.98	7.00	13.00
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00

## < 4. 指標 > DO

	指 標 名	単 位	目標・実績	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
活動指標	大会準備(実行)委員会の開催数	回数	目標	0	0	2	3	3
			実績	0	0	2	-	-
	委員会(総会、常任委員会、専門委員会)の開催回数							
	大会啓発・PR事業数	回数	目標	0	0	1	3	5
実績			0	0	1	-	-	
啓発・PR事業の実施回数								
成果指標	市民の大会開催の認知度	%	目標	0	0	50	60	65
			実績	0	0	54.9	-	-
	大津市の運動・スポーツに関する市民意識調査結果							
				目標				
実績								



# 令和 3年度 事務事業評価シート

[令和 2年度事後評価]

整理番号	67		
部 局 名	市民部	所 属 名	スポーツ課
事務事業名	00839 学校体育施設開放事業	所 属 長	足立 寿通
		記 入 者	杉本 光洋

## < 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	スポーツ基本法、昭和51年文部事務次官通知
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り		
	政策	04	スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします	関連する個別計画	大津市スポーツ推進計画
	施策	01	スポーツの普及・振興		
	視点	99	その他		
重要	99	その他			

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	管理	評価対象事業	学校体育施設開放事業費	

事業の概要  
 近年、生活水準の向上や自由時間の増大により、スポーツ活動に対する市民の欲求が高まっており、この要請に応えるため、市立小学校36校の体育館と運動場、また、市立中学校10校の体育館を学校教育に支障のない範囲で開放している。学校開放の運営にあたっては、各学校に「学校体育施設開放運営委員会」を設置し管理運営を委託している。

運営方法  直営  指定管理者  民間委託  出資団体委託  補助金交付  その他（地域の団体への委託）

## < 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	市民が日常生活において身近にスポーツ活動を行えるために
対象 (何又は誰を)	市民のスポーツ活動を
手段 (どのようなやり方で)	各小中学校体育施設開放運営委員会に運営を委託して、学校体育施設を教育に支障のない範囲において開放することにより
成果 (どのような状態にするのか)	市民のスポーツ活動の充足、運動・スポーツ実施率向上に寄与する。

## < 3. 経費 > DO

		平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 決算額(千円)	令和 2年度 決算額(千円)	令和 3年度 予算額(千円)	令和 4年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		11,662	12,007	10,544	14,628	17,126	
人件費 B		5,113	5,193	5,492	5,492	5,492	
事業費合計 A+B		16,775	17,200	16,036	20,120	22,618	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	5,679	3,043	2,763	3,315	3,315	照明料収入
	一般財源	11,096	14,157	13,273	16,805	19,303	
職員数(人)		0.70	0.92	0.92	0.92	0.92	
職員数の内訳	正規	0.60	0.52	0.52	0.52	0.52	
	嘱託	0.00	0.10	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.10	0.30	0.40	0.40	0.40	

## < 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
活動指標	1	小学校開放校数	校	目標	36	36	36	36	36	
				実績	36	36	36	-	-	
	市内36小学校(葛川小を除く)を開放している。									
	2	中学校開放校数	校	目標	10	10	10	10	10	
実績				10	10	10	-	-		
市内18校の内10校を開放している。										
成果指標	1	小学校開放利用人数(運動場、体育館)	人	目標	774,000	774,000	580,500	600,000	774,000	
				実績	640,473	629,300	501,167	-	-	
	小学校開放の利用人数(運動場、体育館)									
	2	中学校開放利用人数(体育館)	人	目標	42,000	42,000	31,500	34,000	42,000	
実績				38,783	36,205	30,548	-	-		
中学校開放の利用人数(体育館)										

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	学校体育施設は地域の身近な体育施設として幅広い年代の市民から利用されている。スポ少等の地域団体だけではなくクラブチーム等への参加も増えている。	
これまでの見直しや改善等の経過	H29年度運営マニュアルの見直し。H30年年度運営委員会への委託料算定方法の見直し。R2年度、様式等の改正を実施。	
項目別評価	評価	評価理由
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	昭和51年の文部事務次官通知に基づいて、市が学校体育施設を地域住民のスポーツ活動に提供することは妥当である。
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	利用頻度は高く、市民が身近にスポーツに取り組み、運動・スポーツ実施率向上に寄与している。
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	地域団体に運営を委託し、地域の実情に合わせた効率的な運営がされている。
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模や見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	市民の運動・スポーツ実施率の向上に寄与、スポーツの普及・振興に貢献している。
---------	--	--

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 ( <input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他 ) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 ( ) <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	年度により、利用人数に変動があるものの多くの市民の利用があり、スポーツの普及、振興の施策目的を果たせており、継続して運営していく。
部局長コメント	令和2年度には、効率的な申請・運用方法へ見直しを行った。学校体育施設については、地域住民の身近なスポーツの場であることから、持続可能な効率的な運用方法への検討を引き続き検討していくこと。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成30年度	平成31年度	令和2年度
目標達成率	指標1	82.74 %	81.30 %	86.33 %
	指標2	92.34 %	86.20 %	96.97 %
成果増減率	指標1	- %	-1.74 %	-20.36 %
	指標2	- %	-6.64 %	-15.62 %
活動単位コスト	指標1	465 千円	477 千円	445 千円
	指標2	1,677 千円	1,720 千円	1,603 千円
成果単位コスト	指標1	0 千円	0 千円	0 千円
	指標2	0 千円	0 千円	0 千円
コスト増減率		- %	+7.09 %	+13.78 %

# 令和 3年度 事務事業評価シート

[令和 2年度事後評価]

整理番号	68				
部 局 名	市民部	所 属 名	スポーツ課	所 属 長	足立 寿通
事務事業名	00840	社会体育施設管理運営事業	記 入 者	杉本 光洋	

## < 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	スポーツ基本法
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り		
	政策	04	スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします	関連する個別計画	大津市スポーツ推進計画
	施策	01	スポーツの普及・振興		
	視点	99	その他		
重事	99	その他			

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	管理	評価対象事業	社会体育施設管理運営費	

事業の概要  
市民のスポーツ・レクリエーションの普及振興、健康の保持増進を図るため、市民プール・市民運動広場・市民体育館・格技場・乗馬場・キャンプ場・ランニングコース・オリエンテーリングコースを設置している。  
平成18年度より市民プール・大谷乗馬場について指定管理者制度を導入し、平成30年度からは富士見市民温水プールについてPFI手法を活用し、運営している。

運営方法  直営  指定管理者  民間委託  出資団体委託  補助金交付  その他（地元団体への委託）

## < 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	市民のスポーツ・レクリエーションの普及振興、健康の保持増進を図るため
対象 (何又は誰を)	社会体育施設の管理運営を
手段 (どのようなやり方で)	指定管理施設については選定した指定管理者に、市民運動広場については、運営委員会に業務を委託することで
成果 (どのような状態にするのか)	市民が日常的にスポーツ・レクリエーション活動に取り組むことができ、運動・スポーツ実施率の向上が図られ、健康の保持増進が図られる。

## < 3. 経費 > DO

		平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 決算額(千円)	令和 2年度 決算額(千円)	令和 3年度 予算額(千円)	令和 4年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		333,422	174,232	189,505	169,465	193,929	
人件費 B		6,068	11,039	10,906	10,906	10,906	
事業費合計 A+B		339,490	185,271	200,411	180,371	204,835	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	29,131	43,075	36,219	43,074	43,074	体育施設等使用料
	一般財源	310,359	142,196	164,192	137,297	161,761	
職員数(人)		0.74	1.33	1.33	1.33	1.33	
職員数の内訳	正規	0.74	1.33	1.33	1.33	1.33	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## < 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
活動指標	1	市民運動広場等の数	施設	目標	36	36	36	36	0
				実績	36	36	36	-	-
	運動広場等、体育館、プール、格技場、乗馬場、キャンプ場等の施設の数								
	2			目標					
			実績						
成果指標	1	市民運動広場等の利用人数	人	目標	384,000	384,000	320,000	340,000	384,000
				実績	320,383	348,999	300,378	-	-
	運動広場等、体育館、プール、格技場、乗馬場、キャンプ場等の利用者数								
	2			目標					
			実績						

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	老朽施設が増える中、市の財政状況や公共施設マネジメント等を考慮し、利用者の要望に応えられるよう計画的な維持管理が求められる。また、新型コロナウイルス感染拡大防止に努め、安心安全な施設運営が求められる。	
これまでの見直しや改善等の経過	平成18年から市民プール、大谷乗馬場に指定管理者制度導入。平成30年10月から大津市初となるPFI事業により富士見市民温水プールを開設。	
項目別評価	評価	評価理由
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	市民にスポーツ・レクリエーションの場として提供する事業であり、妥当である。
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、施設を一定期間閉鎖し、利用者数が減少に転じたが、緊急事態宣言解除後は蛇口の自動水洗化等の感染症対策に努め、年後半には順調に回復した。
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input type="checkbox"/> A. 高い <input checked="" type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	直営、指定管理者、地元へ運営委員会に委託するなど、施設の実情に合わせて管理運営している。
総合評価	<input type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模の見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	様々な社会体育施設を運営し、市民にスポーツの場を提供することで、スポーツの普及・振興に貢献している。
---------	--	--

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続      ( <input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他 ) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 (      ) <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	市民のスポーツ・レクリエーションの普及振興及び健康の保持増進を図るため、引き続き施設の適切な維持管理、運営を行うとともに、新型コロナウイルス感染症対策に努め、市民が利用しやすい施設運営とコスト削減を両立させるため、今後も民間ノウハウを生かした運営方式の研究を進めていく。
部局長コメント	社会体育施設の維持管理については、施設の状況を踏まえ計画的な修繕・改修に努め、より効果的かつ効率的な運営ができるよう事業実施手法を検討していくこと。また、指定管理者制度導入施設においては、指定管理者との連携を強化のうえ、常時利用者ニーズの把握に努め、利用者拡大、サービス向上に取り組むこと。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成30年度	平成31年度	令和2年度
目標達成率	指標1	83.43 %	90.88 %	93.86 %
	指標2	- %	- %	- %
成果増減率	指標1	- %	+8.93 %	-13.93 %
	指標2	- %	%	%
活動単位コスト	指標1	9,430 千円	5,146 千円	5,566 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位コスト	指標1	1 千円	0 千円	0 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増減率		- %	-49.90 %	+25.68 %

# 令和 3年度 事務事業評価シート

[令和 2年度事後評価]

整理番号	69		所属名	スポーツ課	所属長	足立 寿通
部局名	市民部		記入者	杉本 光洋		
事務事業名	00842 比良げんき村管理事業					

## < 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	天津市立野外活動施設条例
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り		
	政策	04	スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします	関連する個別計画	天津市スポーツ推進計画
	施策	01	スポーツの普及・振興		
	視点	99	その他		
重事	99	その他			

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	管理	評価対象事業	比良げんき村管理事業費	

事業の概要  
比良げんき村における野外活動を通じて、市民のスポーツ・レクリエーションの振興を図る。

運営方法  直営  指定管理者  民間委託  出資団体委託  補助金交付  その他（指定管理（H20～））

## < 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	豊かな自然を活かした野外活動施設のなかで、青少年の健全な育成と、市民のスポーツ・レクリエーションの普及振興を図るため
対象 (何又は誰を)	利用者に対して
手段 (どのようなやり方で)	指定管理者の民間のノウハウを活かして自然体験・環境学習の場の提供をすることにより
成果 (どのような状態にするのか)	青少年の健全な育成と、市民のスポーツ・レクリエーションへの参加が図られる。

## < 3. 経費 > DO

		平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 決算額(千円)	令和 2年度 決算額(千円)	令和 3年度 予算額(千円)	令和 4年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		17,896	19,867	20,282	18,828	19,128	
人件費 B		1,230	1,660	1,640	1,640	1,640	
事業費合計 A+B		19,126	21,527	21,922	20,468	20,768	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	19,126	21,527	21,922	20,468	20,768	
職員数(人)		0.15	0.20	0.20	0.20	0.20	
職員数の内訳	正規	0.15	0.20	0.20	0.20	0.20	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## < 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
活動指標	1	げんき村の利用日数	日	目標	100	100	83	150	150	
				実績	138	148	125	-	-	
	キャンプ場利用があった日数。									
	2	天体観測施設の開場日数	日	目標	100	100	83	100	100	
実績				87	73	52	-	-		
プラネタリウム、天体望遠鏡の利用があった日数。										
成果指標	1	げんき村利用人数(キャンプ場)	人	目標	5,500	5,500	4,583	5,000	5,500	
				実績	5,971	6,640	4,001	-	-	
	指定管理者からの報告による。									
	2	天体観測施設の利用者数	人	目標	1,500	1,500	1,250	1,250	1,250	
実績				803	786	616	-	-		
指定管理者からの報告による。										

